

～いま甦る『伊勢物語』の世界～

OPERA

京都西山、大原野を舞台とした  
在原業平と二条の后による  
悲恋の幻影

女乃えり

# 業平

Narihira



詞章・台本：笠谷 和比古  
作曲・指揮：門田 展弥  
衣装：津田 大輔  
演出：風吹 和男  
監修：山本 登朗

伊勢物語図色紙 伝依屋宗達筆 大和文華館蔵  
『琳派と風俗画』展 (大和文華館、2016年4月15日～5月22日) にて展示

2016 6/11 [土] 4:00pm (開場/30分前)

明治アニバーサリーホール [京都エミナース]

(京都市西京区大原野東境谷町) 075-332-5800

前売り 3000 円 当日 3500 円

阪急桂駅または JR 桂川駅からバス 15 分、「境谷大橋」下車すぐ

ご予約  
お問合せ

090-3866-9151(藤本) fujimoto-01@nifty.com

主催：西山文化を語る会 オペラ『業平 Narihira』公演実行委員会

後援：京都市 (申請中)



【あらすじ】

第一幕  
 場面は京都西山の大原野、時は弥生の花盛り。東国から都を訪れた僧侶が桜花に見とれているところへ、若い寺男が現れて、僧に西山・大原野の名所の数々を教え、それより十輪寺の境内に案内する。そこには所に似合わぬ塩竈がある。僧がその謂れを尋ねるに、その昔在原業平が塩竈の煙に託して京にいたる二条の后に恋の思いを伝えようと塩を焼いたことによるものだと答えて、塩焼きの歌を歌う。そして寺男は、吾こそ在原業平の亡霊、桜花のあまりの見事さに惹かれてこの世に現れ出でたと告げ、夜を待ちたまえ、二条の后との恋模様の実を御僧に伝えようと言ひ残して去っていく。

第二幕  
 業平が若き日の二条の后、すなわち藤原長良の娘高子(たかこ)を連れ出した愛の逃避行の場面。雷鳴とどろく夜道を落ちゆく二人は桂川をうち渡り、満開の桜に包まれた大原野の地へたどりつく。嵐はおさまり、雲間からは望月が姿を現わして二人を照らし出す。乱れ咲く一面の桜花、煌々たる望月の月明りの中で二人は愛の喜びを歌い上げる。また高子(たかこ) 姫がかつて朝廷から召されて五節の舞姫をつとめ、その舞姿に業平が心奪われたことなどを回顧しつつ、二人の二重唱はいやまして高潮していく。だが、その高まりの極まったとき邪気が忍び寄ってくる：

～今甦る『伊勢物語』の世界～

OPERA

詞章・台本：笠谷 和比古

作曲・指揮：門田 展弥

衣装：津田 大輔

演出：風吹 和男

監修：山本 登朗

在原業平：清水 徹太郎

高子姫(二条の后)：安本 佳苗

東国の僧、鬼の声：福嶋 熱

管弦楽：エウフォニカ管弦楽団



NARIHIRA

公演日：平成 28 年

6/11(土) 4:00pm (開場/30分前)

明治アナーサリーホール  
[京都エミナース]

(京都市西京区大原野鏡谷大橋) 075-332-5800

阪急桂駅または JR 桂川駅からバス 15 分、  
「鏡谷大橋」下車すぐ

エウフォニカ管弦楽団

「エウフォニカ」とは古代ギリシャ語で「調和のとれた音」を意味しており、「音楽の感動とよるこびを一人でも多くの人と共に分かち合いたい」という願いのもと 1963 年に結成される。以来 53 年、オペラやバレエその他青少年の為のコンサートなど身近なクラシック音楽づくりに取り組み真心をもってあらゆる音楽企画に柔軟に対応するオーケストラとして活躍している。今世界中から注目されている指揮者佐渡裕氏もかつて当楽団指揮者として共に歩んできた 1 人である。



詞章・台本 笠谷和比古  
Kazuhiko Kasaya

帝塚山大学文学部文化創造学科教授。関西劇団フェスティバル協議会代表幹事。国際芸術文化アカデミー会長。能・文楽・歌舞伎の現代化を目指す「楽劇の祭典」を 2001 年以來運営し、「復元・阿国歌舞伎」(京都四條河原)、現代版歌舞伎「豊後掾」(大阪 NKK ホール)、楽劇「保元物語」(兵庫芸術センター・大ホール)などを制作統括。「豊後掾」「保元物語」の詞章・台本を担当。著書に『伝統文化とグローバル化』(NTT 出版、2009 年)他。



作曲・指揮 門田展弥  
Nobuya Monta

京都市立芸術大学卒業、大阪教育大学大学院修了。2014 年ウィンチェスター大聖堂で行われた Winchester Consort 第 1 次世界大戦開戦 100 周年記念演奏会において組曲『戦争と平和』が初演される。また 2013 年および 2015 年ヘイスティングス国際作曲家フェスティバルで Composer in Residence を務め『ギター協奏曲』、オペラ『OTOHIME (管弦楽版)』等を初演。追手門学院大学客員教授、新いちょう大学校講師、月刊『音楽現代』評論家。



テノール 清水 徹太郎  
Tetsutaro Shimizu

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第 33 回阪神音楽コンクール第 1 位、文部科学大臣賞他多数受賞。「マタイ受難曲」、「第九」等においてソリストを、2015 年ザクセン音楽アンサンブル・ジルヴェスターコンサート「メサイア」ではドレスデンに招聘されソリストを務める。オペラでは「カルメン(ドンホセ)」、「夕鶴(与ひょう)」、他多数に出演。2012 年度音楽クリティッククラブ奨励賞受賞。京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学、大阪音楽大学、武庫川女子大学各講師。



メゾソプラノ 安本佳苗  
Kanae Yasumoto

同志社女子大学卒業。同音楽学会<奨励会>特別専修生修了。関西二期会では「魔笛(童子)」、「カルメン(メルセデス)」、「フィガロの結婚(マルチエツリーナ)」、「コジ・ファン・トゥッテ(ドラベッラ)」、「こもり(オルロフスキー)」等に出演。その他では「ジプシー男爵(ミラベッラ)」、「セザイリアの理髪師(バルタ)」、「もうひとつのカルメン(カルメン)」等に出演。近年、歌曲にも精力的に取り組んでいる。



バリトン 福嶋 熱  
Isao Fukushima

大阪音楽大学卒業。全日本学生音楽コンクール第 2 位、和歌山音楽コンクール第 1 位(2 位 3 位なし)、藤井清水音楽コンクール第 1 位、《波の会》日本歌コンクール第 1 位及び四家文子賞、奏楽堂日本歌曲コンクール第 1 位及び木下記念賞、中田喜直賞ほか多数受賞。関西二期会、堺シティオペラ各会員、神戸市混声合唱団員。堺シティオペラアカデミー、大阪夕陽丘学園高校、常磐啓光学園高校各講師。平成 27 年度和歌山県由良町文化功労賞受賞。

前売り 3000 円 当日 3500 円

\*チケット連絡先\* 藤本廣志 090-3866-9151 fujimoto-01@nifty.com